

## 千葉市経済成長・雇用創出ビジョン（案）に対する意見の概要と市の考え方

番号	ページ	項目	意見の概要（経済企画課）	意見に対する市の考え方（経済企画課案）	計画案への反映 ○：反映する －：反映しない
1	4	第1章 1	本計画の策定目的は大いに賛同するが、経済行政の目標の何たるかについて簡潔に記載すべきと考える。	経済行政の目標は、「第4章 経済行政の基本目標と4つの戦略」において、「基本目標」として記載しております。	－
2	6	第2章 1 (1)	「東日本大震災直後の」とあるが、発生の年を明確にするため、「東日本大震災（平成23年（2011））直後の」と記載するのはどうか。	ご意見を踏まえ、以下のとおり修正します。 <修正案> 東日本大震災（平成23（2011）年）直後の経済情勢を鑑み～	○
3	19	第3章 1 (1)	「本市の人口は間もなく減少局面に入る見通しです」とあるが、計画期間が令和5年度から令和9年度と期間の幅があることから、間もなくという表現より、1 本市の現状 (1) ②将来人口推計 に記載の「2020年代前半をピークに減少局面に入る見通しです」の文言に合わせるか、「2023から2025年の間に減少局面に入る見通しです」とする方が適切ではないか。	ご意見を踏まえ、以下のとおり修正します。 <修正案> 「本市の人口は、2020年代前半をピークに減少局面に入る見通しです。」	○
4	20～21	第3章 1 (1) ②	1 本市の現状 (1) ②将来人口推計において、千葉県内の他の地域の人口予測を掲載しているのはなぜか。他都市を比較するなら、首都圏政令市が適切ではないか。また、2045年の千葉市人口の予測値が、掲載する図表により異なる。	本市は、市周辺地域を含む経済圏を形成し、雇用の受け皿としての役割を担うほか、県内の交通の要衝でもあることから、周辺地域との関係性が強く、周辺地域の人口流動や経済規模等の変化が本市にも影響するため、千葉県内の人口動向を掲載しています。また、人口の予測値の相違は、調査を実施した年次が異なることが理由であります。	－
5	22	第3章 1 (1) ③	「本市の昼夜間人口比率は、中央区や美浜区を中心に高く」と記載するなら、中央区や美浜区の昼夜間人口比率の数値を記載してはどうか。	ご意見のとおり、以下のとおり修正します。 <修正案> 本市の昼夜間人口比率は、中央区（123.7%）や美浜区（116.3%）を中心に高く～	○
6	22	第3章 1 (1) ③	③昼夜間人口比率や就従比を比較する自治体について、首都圏政令市に加え、千葉市より東京にある船橋市や柏市を加えたらどうか。また、「本市には市内在勤者が多く」とあるが、正しいのか。	本計画における、人口や経済規模等の比較においては、規模の近い首都圏政令市との比較を基本としています。また、「本市には市内在勤者が多く」については、市内の就業者に対する市民の就業者の割合が、他の首都圏政令市と比較して高いことは、市外在勤者が比較的少なく、市内在勤者が多いことが想定されますが、ご意見を踏まえ、以下のとおり修正します。 <修正案> また、就従比についても同様であることから、本市は、職住近接の都市であり、県内における通勤先等として高い拠点性を有しているといえます。	○
7	45	第3章 1 (6) ①	1 本市の現状(6)交通①道路について、外環道や圏央道の完成が千葉市の産業に影響を与えることは間違いないが、東関東自動車道、京葉道、国道16号・14号を中心に記載してはどうか。	外環道や圏央道以外の道路の重要性も認識しておりますが、首都圏における本市と関連性のある交通アクセスという広域の視点から記載していることから、原案のままとします。	－
8	46	第3章 1 (6) ②	1 本市の現状(6)交通②鉄道について、JR線（総武線、京葉線）だけでなく京成線もある。	1 本市の現状(6)交通②鉄道について、県内主要駅における乗車人数の規模や房総へつながる広域的な観点等からJR線の乗車人員を記載していますが、京成線が公共交通として果たす役割の重要性は認識しております。	－
10	47	第3章 1 (6) ④	千葉県内には、外国人の中古自動車取扱事業者が、国内取引のほか、輸出を積極的に行っている。現在、海外へ輸出するには、横浜港まで陸路を輸送し、通関の許可を受けて輸出するのが一般的だが、経費や輸送時の二酸化炭素排出量の削減のためにも、千葉港を積荷港にできるとよいと考える。	千葉県内には外国人の中古自動車取扱事業者がおり、千葉港が輸出入における積荷港になることにより、利便性の向上や二酸化炭素排出量の削減に繋がることご提案ですが、通関や港湾の管理等に關しては、国や県等により取組まれるものであり、本市の経済行政の取組み方針等を示す本計画では触れませんが、引き続き関係機関と連携して取り組んで参ります。	－
9	79	第4章 1	基本目標の経済成長・雇用創出と、4つの戦略の下の市内総生産額の増加・市内従業者数の増加を対応した表現を意図していると思うが、後者を重点にするのであれば、基本目標の記載も置き換えてはどうか。	本計画では、経済成長と雇用創出を基本目標に掲げ、目標達成に向けて経済行政の4つの戦略に基づき取組み方針及び主な取組みを進めた結果として市内総生産額、市内従業者数の増加を目指しており、目標と結果（成果）の違いが明確となるよう表現については修正します。 <修正案> 市内総生産額、市内従業者数の増加を実現	○
13	81	第4章 戦略 I (1)	市周辺部の人口減少が直接千葉市の経済規模を縮小させているとは思えないため、(1)戦略の考え方冒頭の「市周辺部」の記載は不要ではないか。	本市は、市周辺地域を含む経済圏を形成し、雇用の受け皿としての役割を担うほか、県内の交通の要衝でもあることから、周辺地域との関係性が強く、周辺地域の人口流動や経済規模等の変化が本市にも影響すると考えられることから、原案のままとします。	－
11	83	第4章 2 戦略 I (3) ②	創業の促進に向けて創業機運を高めるには、現在実施している「西千葉子ども起業塾」や「千葉市アクセラレーションプログラム（短期集中型のスタートアップ個別支援プログラム）」などを継続するとともに、何らかの起爆剤になるような取組みがあるとよいのではないかと。例えば、姉妹都市や国内の外国人等からビジネスアイデアを募るコンテストを開催する等してはどうか。	創業の促進に向けた支援については、経営課題の相談から経営スキルの向上や資金調達の支援のほか、ビジネスコンテスト事業（ベンチャー・カップCHIIBA）や短期集中型のスタートアップ個別支援プログラム等を継続して参ります。創業機運の向上や創業者の裾野を広げる取組みは重要と考えており、いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。	－
12	83	第4章 2 戦略 I (3) ②	創業を希望する外国人材が活用できる、在留資格の変更に関する新たな国家戦略特区の規制改革メニューを提案してほしい。具体的には、在留資格「短期滞在」から「経営・管理」の変更について、現在のような一定のケースに限定せず、あらゆる事業を「やむを得ない特別の事情」に該当して取り扱う、新たな規制改革メニューはどうか。	創業を希望する外国人材向けの在留資格の緩和制度については、経済産業省の「外国人起業活動促進事業」や、国家戦略特区の「外国人創業活動促進事業」等がありますが、今後、外国人の創業ニーズを踏まえながら、取組みを検討していきます。いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。	－

番号	ページ	項目	意見の概要（経済企画課）	意見に対する市の考え方（経済企画課案）	計画案への反映 ○：反映する －：反映しない
16	90	第4章 2 戦略Ⅲ(1)	「また、高齢化に伴い、ものづくり産業では技能継承が課題となっており、」とあるが、「高齢化」という文言は必要でしょうか。 ものづくり産業の高齢化は今始まったわけではなく、以前から技能継承する人材がいなかったということではないでしょうか。	ものづくり産業において、技術者の高齢化は引き続きの課題であり、それを引き継ぐ若手の人材など、技術の継承が課題になっていることから、以下のように修正します。  <修正案> また、ものづくり産業における技術者の高齢化や若手の人材不足等に伴い、技能の継承が課題となっており、産業人材の確保・育成が急務となっています。	○
14	92	第4章 2 戦略Ⅲ(3) ② (インターンシップ受入の促進)	インターンシップ受入れ促進の体制について、すでに市内にある産・学・官の連携の枠組みを活かし、留学生と企業の橋渡しをするコンソーシアムを構築することはできないか。	インターンシップに関する産学官の連携体制としては、県内の大学、経済団体及び千葉県・千葉市からなる千葉県インターンシップ推進委員会があり、インターンシップ促進のため、留学生を含む学生と企業のマッチング会やインターンシップの成果発表会等を行っています。引き続き、これらの枠組みを活用しながら、留学生のインターンシップの受入れを支援していきます。	－
15	92	第4章 2 戦略Ⅲ(3) ② (外国人材の受け入れ支援)	留学生と企業の橋渡しをするコンソーシアムの構成員として各種関係機関（千葉労働局やハローワーク千葉、千葉県社会保険労務士会、千葉県行政書士会等）を取り込み、それぞれの得意・所管分野の知見を生かしてもらうことで、ある程度外国人材の受け入れ対応ができるのではないかと。	外国人材の受入につきましては、関係機関の協力のもと、企業向けのセミナーを開催するなどしております。いただいたご意見を今後の参考にさせていただき、知見を有する関係機関との連携を深めて参ります。	－
17	99	第5章 (1)	(1) 計画の推進体制において、「本市」の意味が掛かる文言によって、冒頭の「本市」・「財政状況」は千葉市、「人員配置」は千葉市役所を意味しているように思う。	第5章(1)計画の推進体制についてにおける「本市」、「財政状況」、「人員配置」の文言については、全て行政としての「千葉市」の意味で使用しています。	－
18	99	第5章 (1)	・「・・・都市イメージの向上や賑わい創出、雇用の創出などを通じ、観光の振興に連携して取り組んでいきます。」とあるが、観光の振興と雇用の創出に、どのような関係があるのか。  ・何と連携して取り組んでいくのか。  ・また、観光の振興には観光の目玉が必要ではないか。	国内外から訪れる人々の交流促進により、観光事業者はもとより、宿泊業や飲食業等の関連産業の振興につながることも、これら事業者の雇用の創出に寄与することから、観光の振興につながるものと考えています。  「観光の振興に連携」については、千葉市観光協会、関係団体及び観光関連産業の企業の方等と連携して推進していくことを想定しており、ご意見を踏まえ、以下のとおり修正します。  <修正案> また、国において、官民連携による「観光立国」実現を目指した取組みが進められている中、本市においても、国内外から訪れる人々の交流促進、都市イメージの向上や賑わい創出、観光関連産業における雇用の創出などを通じた観光の振興に、千葉市観光協会等の関係機関と情報共有や連携を図りながら取り組んでいきます。  観光の振興において、多くの集客に繋がる観光の目玉となるコンテンツ等の必要性については、認識しております。 具体的にどのように進めていくのかについては、戦略Ⅳに記載しており、これらの観点を念頭に置きながら、千葉市観光協会等と連携しながら取り組んでいくこととしており、いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。	○
19	100	第5章 (2)	経済の先行きの予測が難しいのはその通りだが、社会・経済情勢の変化を察知し、変化に応じた柔軟な施策等を準備しておくことが重要である。	ご意見のとおり、社会・経済情勢の変化を予測・察知し準備しておくことは重要と考えておりますが、一方で、先行きの予測が難しいことも事実であるので、変化に応じた柔軟な施策や事業を選択して実施していくことも重要であると考えており、これらの観点を念頭におきながら、計画を推進していきます。	－